

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

イベント
紹介

「科学」を楽しもう さいえんす縁日

「さいえんす」を楽しもう！
気が向いたら気軽に立ち寄って、
出し物を楽しむ「縁日」です。
科学への興味が深まるはずです。

出展予定

ホバークラフト体験、科学ペン教室、紙ひこうき大会、
お魚キャッチャー、缶バッジをつくろう、ばるーん電
話で遊ぼう、他多数

日時

令和3年1月17日(日) 午後1時～4時

※参加費は、体験参加をする方1名につき、1日・100円です。
※申込は不要です。直接、荻窪地域区民センターにお越しください。
※新型コロナウイルス対策には万全を期します。



協力団体：サイエンスホッパーズ/だがしや楽校サイエンスくらぶ

作品募集のお知らせ

展示作品を杉並区内在住・在勤・在学の
皆様から広く募集します。

第42回

アート展



令和3年2月13日(土)・14日(日)
開催会場：荻窪地域区民センター

応募作品(個人・グループ)

- 絵画(油絵・水彩画・日本画・デッサン等 10号以下)
 - 彫刻(木・金属・石など1m以下)
 - 工芸・陶芸・木竹工芸・彫金・染色など
 - 写真(半切以下) ● 書・短歌・俳句
 - フラワーアレンジメント ● 手芸 ● その他
- ※同一種目の出品は、原則1人1点です。

出品申込み方法

[申込書]に必要事項をご記入の上、荻窪地域区民センター内
事務局へ郵送・持参・FAXにて提出してください。
[申込書]は事務局および本天沼区民集会所で配布、HPからも
ダウンロードできます。

申込み締切日

令和2年12月18日(金)必着

詳細についてのお問合せは

〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20
荻窪地域区民センター協議会 事務局
電話：03-3398-9127 FAX:03-3398-9128

主催：荻窪地域区民センター協議会

これからのスケジュール

12月

● 6日(日)「防災フォーラム」
(会場：西荻地域区民センター)

● 13日(日)「荻窪寄席」
金原亭馬玉(落語)、翁家利助(曲芸)

● 16日(水)「2021年政局を占う」
講師：橋詰邦弘(共同通信社特別論説委員)

令和3年1月

● 13日(水)「認知症予防は落語から」講演と落語
講演：藤原佳典
(医学博士 東京都健康長寿医療センター 研究所部長)

落語三席：杉並江戸落語研究会会員

● 17日(日)「さいえんす縁日」

● 24日(日)「コロナ後の持続可能な世界に向けて」
講師：林薫(文教大 国際学部教授)

● 1月26日(火)「広報紙」わたしのおぎくぼ」
No.349 2月・3月号発行

● 31日(日)「東京文化会館はじめてまして
クラシック〜オペラへの誘い」

2月

● 2日(日)・16日(土)・23日(金)「リズム&ストレッチ教室」
講師：後藤鈴香(健康運動指導士)

● 13日(土)・14日(日)「アート展」

● 21日(日)「続・はやぶさ2の挑戦
〜リュウグウからの玉手箱〜」
講師：澤岡昭(AXA研究統括)

3月

● 16日(火)「広報紙」わたしのおぎくぼ」
No.350 2月・3月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は
荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先 ● 事業企画部 ● 地域交流部

● 広報部 ● 総務部



子どもが学校の主役となる教育を目指す 杉並区立沓掛小学校



このシリーズの第4回は、沓掛小学校の鈴木祐一校長先生からお話を伺いました。

★概要

沓掛小学校（以下「沓掛小」）は、1953年若杉小、杉五小、桃一、桃五小からの児童により開校、今年67周年を迎えています。「沓掛」は街道筋など沓（馬のわらじ）が木に掛けられていたことなどを指す言葉ですが、その名前は、今の清水、今川、桃井の一部となる江戸期からある沓掛町に由来します。学校は妙正寺川の畔に立地（敷地面積1.1ha）、校庭の端は妙正寺川の河岸段丘にかけ階段状の観覧席が設けられて連合運動会の会場にもなっていました。在籍する児童数は606名（2020年9月12日現在）、20学級からなっています。新型コロナウイルス感染症拡大から大幅に学期運営の変更でご苦労のある2学期、ご多忙のなか取材を受けてくださいました。

★沓掛小の教育実践

沓掛小の掲げる標語は『未来を拓く』教育です。そのために3つのコンセプト（体、徳、知）を置いています。まず「元気（健やかな体）」：毎週木曜日の朝に、長縄・短縄・持久走を継続、これを「くっつけトライやる」と呼んでいます。中休みを30分とって元気いっぱい遊びます。2番目は「やさしさ（豊かな心）」：異学年交流や地域の方々との交流を通じて、豊かな心を育みます。「たてわり掃除」（毎週金曜日、高学年をリーダーに学校を清掃します）、「幼保小交流」（近隣の保育園・幼稚園と様々な交流の実施）など。3番目は「かがやく瞳（確かな学力）」：基礎・基本を重視し、学び合いを大切にする指導で学力向上を図ります。「全学年算数少数人数指導」、「ペア・グループ学習」、「ICTの活用」、「チャレンジタイム」（火・金の朝15分間、算数・国語の集中学習）など、これら3面から教育を行っています。



1年生は「大根の植木屋」

また学校支援本部（「縁（ゆかり）」、2007年3月設置）のもとで教育課程内支援事業として「くっつけドリーム」「お仕事見本市」や茶道・華道体験、教育課程外支援事業として周囲の大人たちと交流する「ふれあいフライデー」や「夢企画」（土曜日に普通の授業ではできないこと、「囲碁教室」など）、また園芸ボランティアや学校周辺を視る「わんわんパトロール」など環境支援事業が地域の人々の支援で実施されています。

★特色ある学校づくり

①小中連携教育に向けた教育活動：AKAと呼称される天沼小(A)・沓掛小(K)・天沼中学(A)と連携して「言霊検定」、「百人一首大会」など伝統・文化の理解と発信力の涵養を行っています。また中瀬中学との連携もあります。②児童の安心安全のための教育活動・教育環境の徹底：避難訓練・安全指導などを関係機関および学校支援本部・住民とも連携して行っています。③開かれた学校づくり：「よくわかる！沓掛小学校」というA3一面の表によって児童だけでなく保護者もそれを見て、学校の方針を分かりやすく共有できる媒体があります。学校支援本部に加え2009年1月には学校運営協議会も設置され、学校ガバナンスも含んだコミュニティスクールとして機能しています。

学区内の松原氏の農場を利用した農業体験はユニークなものです。1年生の大根の種まき体験、2年生のブロッコリーの栽培、3年生の営農の講義、6年生ではじゃがいもの種芋植え、追肥、収穫、販売まで一貫した農業体験を組み入れています。これらも学校支援本部がサポートしています。



3年生は「ヤゴ救出作戦」



5年生は「百人一首大会」

★鈴木校長の学校への思い

校長先生からは印象的な言葉として、「子どもが学校の主役」となる教育を目指すという言葉をお聞きしました。ひとりひとりの児童は無限のよさや可能性をもっている。それを最大限に引き出し、伸ばしていくことが学校に課せられた責務であるとおっしゃっていました。児童ひとりひとりが自分をコントロールできること、自立していることが目指されています。

杉並区立沓掛小学校

住所：168-0081 東京都杉並区清水3-1-9 電話：03-3390-4158
ホームページ：www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou/

開催報告

令和2年度 地域懇談会

今年度の「地域懇談会」が10月17日（土）14時～16時30分、荻窪地域区民センターにて、町会・自治会関係者、高齢者福祉・児童福祉関係者、NPO、地域支援団体などの方々に、行政担当者および当協議会委員が加わり、58名が参加して開催されました。

杉並区の前田地域課長からの挨拶、檜枝協議会会長からの活動報告に続き、5グループに分かれて、第1テーマ「withコロナ時代、各団体にはどのような影響があったか？ どう対応したか？」、第2テーマ「埋もれた人材をどう発掘しているか？ 団体・組織横断的な展開を考えられないか？」について討論がなされ、終わりに各グループから報告が行われました。

ホームページに内容の報告を掲載しています。



「荻窪の記憶」

こぼればなし

京橋大根河岸と荻窪

いまでは川も橋もない中央区の京橋。銀座通りから少し入ったかつての橋詰に「京橋大根河岸青物市場跡」の碑がひっそりと立っています。江戸時代から昭和10年まで、約280年の間、ここに青物市場があったというのです。ちょっと意外な感じがするかもしれませんが、江戸市民の胃袋を支える魚や野菜の市場は水運の便のよい川や運河の河岸に設けられました。そして、モガやモボが銀座通りを闊歩する昭和初期まで、「積み上げられた大根が白い花のようだった」という京橋大根河岸の青物市場はつづいたのです。



京橋大根河岸の碑



大根河岸の賑わい

たまたま出会った石碑が語る市場の歴史に筆者が興味をもったのは、以前、録音テープで聞いた荻窪の古老の話の思い出したからです。かつて、荻窪の農家では、大根やサツマイモなどの作物が一斉に収穫の時期を迎える秋になると、大八車に収穫した野菜を満載し、市内の青物市場へ売りに行きました。その市場の一つが京橋にあったというのです。

「大根を洗ってね。暗いうちに起きて。青梅街道、中野の坂を下って、成子坂上がって、新宿通って、三宅坂、桜田門、日比谷の交差点、通ってね。いまの帝劇の脇通って京橋へ。みんな行っただですよ。井草の人でも、みんな荷車牽いて、朝三時ごろかな、ゴロゴロ、車牽いて、たいへん。大根でも、サツマイモでも、野菜の市場、そこまで行かないとなかった（都築勝三郎談）」

別の農家の回想によると、野菜の運搬は一日おきに、9月から12月まで続いたそうです。一度に百貫目（375キロ）以上の野菜を積み、荻窪を夜の12時半頃に出発。神田の青物市場に着くのは朝の7時ごろだったといえます。

「新宿までは、家の人が一人後押ししてくれる。新宿まで後押しを手伝ってもらうと、後押しの者は、帰りは中央線の汽車に乗って帰った。それからは孤独な一人旅だ」「雨が降ると、とんでもない悪路となり、ぬかるんだ中を重い荷物を引っ張っていかなければならない」「真冬でもいつもシャツ一枚だった。そのシャツも汗でびしょり」（井川俊之助『武蔵野に生きる』）

東京の中心街に行く、武蔵野の野菜を満載した大八車の群れ。秋の風物詩の一つだったのではないのでしょうか。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

開催案内

第12回 防災フォーラム2020

プログラム

①講演会とグループ討議(10:30~12:00)

- ・講演会:「コロナ感染を防ぐ震災救援所の運営とは」
講師:杉並区危機管理室防災課長 近藤高成氏
- ・グループ討議(11:00~12:00)

②講演会「災害時、実はトイレが大問題」(13:00~14:00)

講師:NPO法人日本防災士会理事 菊池顕太郎氏

③講演会「障害のある方がともに避難するには」(14:30~15:30)

講師:障害者の住みよい杉並をつくる会 佐藤弘美氏

参加費
無料

「地域の防災力を高めるために」

12月6日(日)午前10時~午後3時30分

会場:西荻地域区民センター3階

講演会、グループ討議への参加には往復はがきによる事前登録が必要です。

お問い合わせは、荻窪地域区民センター協議会事務局(03-3398-9127)または同協議会のホームページをご覧ください。

※展示・DVD上映(3階ロビーなど)、写真展示(1階ロビー)もあります。

●参加者は新型コロナウイルス対策をお願いいたします。

(主催)西荻地域区民センター協議会、荻窪地域区民センター協議会

開催案内

荻窪寄席

聴覚障害のある方にも楽しんでいただける字幕付きの落語と太神楽曲芸で、毎年好評をいただいている当センター協議会恒例の催しです。
今年はコロナ感染症対策から、ご来場人数を少なくさせていただきます。

★演目:金原亭馬玉(落語)「紙入れ」「井戸の茶碗」
翁屋和助(太神楽曲芸)

★日時:12月13日(日)午後2時~4時 ★定員:30名

★場所:荻窪地域区民センター 第1・2集会室



金原亭馬玉



翁屋和助

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
2021年政局を占う	安倍政権から菅政権に交代。野党も再結集し新たな「立憲民主党」を立ち上げた。新型コロナウイルスの状況次第では、早期の衆院解散・総選挙もさやかれる中、2021年政局の行方を占う。 橋詰邦弘(共同通信社特別論説委員)	12月16日(水) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	12月6日(日)
認知症予防は落語から ～講演と落語三席～	今年も元気に初笑い! 講演:藤原佳典(医学博士・東京都健康長寿医療センター研究所部長)、落語:杉並江戸落語研究会会員	1月13日(水) 午前10時30分～午後0時30分	40名	200円	1月4日(月)
コロナ後の 持続可能な世界に向けて	新型コロナ禍の中で今後目指すべき世界像と国際交流、民間外交の意義について考察します。 林薫(文教大学国際学部国際理解学科教授)	1月24日(日) 13時30分～15時	30名	200円	1月10日(日)
東京文化会館 はじめましてクラシック ～オペラへの誘い～	東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 荻窪 オペラ公演で活躍する東京音楽コンクール入賞者とナビゲーターがオペラの世界に優しくご案内します。 ・ロッシーニ作曲 オペラ「セビリヤの理髪師」より ・J.シュトラウス作曲 オペレッタ「こうもり」より ・モーツァルト作曲 オペラ「魔笛」より 他	1月31日(日) 午後2時～3時	30名	無料	1月17日(日)
リズム&ストレッチ教室	音楽に合わせて全身を使って、ウォーキングやストレッチを行います。コロナ対策のため、2班に分けて開催します。 ※申し込みはがきに希望の時間帯(班)を記入ください 後藤鈴香(健康運動指導士)	2月2日・9日・16日・23日 各火曜日(4回) 1班:午後1時30分～2時30分 2班:午後3時～4時	各班 15名	200円	1月24日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

協議会委員を募集します!

荻窪地域区民センター協議会では、令和3年4月から4年間ボランティアで活動していただける協議会委員を募集いたします。

荻窪地域区民センター協議会の主な活動

- 地域交流部:「おぎくぼセンター祭」などイベントの開催
- 事業企画部:講師をお招きした各種講座・講演会・公演などの実施
- 広報部:広報紙やホームページの制作・運営を通じた情報発信
- 総務部:総会などの開催、研修の実施、総務・経理業務を担当

23期定期募集要領

- 募集対象:荻窪地域エリア内に在住・在勤の方(町名・丁目下記)
- 募集人員:10名程度
- 活動期間:4年間(2期:令和3年4月～令和7年3月)
- 報酬:交通費程度
- 申込書類:申込書(荻窪地域区民センター及び本天沼集会所受付で配布)に必要事項をご記入の上、荻窪地域区民センター協議会事務局に提出してください。(郵送・持参どちらでも可)
申請書は協議会ホームページからダウンロードもできます。
- 申込期限:令和3年2月1日(月)まで
- 問合せ先:荻窪地域区民センター協議会事務局
〒167-0051 荻窪2-34-20 ☎03-3398-9127
- 募集対象となる荻窪地域エリアの町名と丁目
本天沼(1)・2.3、天沼全域、清水全域、今川1.2、桃井1.2、上荻1、阿佐谷南(3)、荻窪全域、南荻窪全域、宮前1.2.3、(4)、成田西(2)・(3)、高井戸東4、浜田山(4)
注:()は一部が荻窪地域エリア

「こみゆに亭カフェ」を開催しました

10月22日(木)、12名のゲストと協議会委員併せて約20名が参加し、地域交流会「こみゆに亭」のミニ版(食事なし飲み物だけ)ともいえる「こみゆに亭カフェ」が開催されました。1Fロビーで開催中の「荻窪の記憶Ⅲ展」の見学、特別に開けていただいた屋上からの展望、2グループに分かれての情報交換、みんなで歌の合唱と、多彩な内容となりました。詳細はHPをご覧ください。



皆でセンター屋上から新宿方向を展望

郷土博物館分館

問い合わせ: ☎5347-9801

西棟2階展示室

「絵葉書から見る杉並」

お土産や記念品として、また、かつては最新のニュースを伝えるメディアとして、さまざまな役割を担ってきた絵葉書。そのモチーフは風景や人物にはじまり、学校の校舎や運動会のような、区役所やデパート、さらには事件や災害など、バラエティに富んでいます。

本展ではこうした絵葉書が時代の移り変わりのなかで担ってきた役割を紹介するとともに、杉並に関連する絵葉書をとおり、かつての杉並の姿を紹介します。

【開催期間】令和2年10月31日(土)～12月27日(日)

「すぎなみ・角川コレクション」 ～角川源義ゆかりの芸術品～

現在「杉並区立角川庭園・幻戯山房～すぎなみ詩歌館～」として公開されている旧角川源義邸には、書籍や手書原稿をはじめ、源義が愛用していた品々や、俳句・美術関連の資料など数千点が遺されていました。邸宅とともに杉並区へ寄贈されたこれらの資料のうち、美術資料26点が令和2年(2020)2月に区の登録有形文化財となっています。

本展ではこれらの美術資料を中心に、これまでまとめて公開されることなかった旧角川邸ゆかりの芸術資料をご紹介します。

【開催期間】令和3年1月30日(土)～3月14日(日)

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
年末年始の休館日(令和2年12月28日～令和3年1月4日)
- 観 覧 料:無料

*【地域からのお知らせ】のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

12月22日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
1月26日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。